

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (藤井 嘉彦)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.2 億円
		通常砂防事業 <small>たにみぎしけい</small> カツカ谷石支溪		内用地補償費	0.2 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
神戸市北区山田町上谷上 <small>やまだちょうかみたにがみ</small>			H21	H21	H23
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 10.5m, L = 38.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 (流域の状況)		・(一)加古川水系志染川 <small>しじみ</small> に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み(最大1.1m)、転石(0.7m前後)も多数存在しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床の堆積土砂は比較的厚く堆積し、谷出口に住宅地が近接するなど、土砂災害の危険性が高い。			
(保全対象等の状況)		・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ370m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家122戸、花山台自治会館</u> ・ <u>神戸電鉄有馬線(約100m)、花山駅(1日乗降客数 約4,100人)、市道(約1,400m)</u>			
(2)有効性・効率性 (効果)		・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成20年度に土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、平成21年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。			
(事業執行環境)		・工事用道路の確保が容易であるなど、事業執行環境は整っている。			
(3)環境適合性		・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削面等については緑化を図るなど環境保全に努める。			
(4)優先性		・地元要望も強く、市の協力体制が整うなど、円滑な事業執行が可能。 以上より、H21年度に事業着手し早急な対策が必要である。			

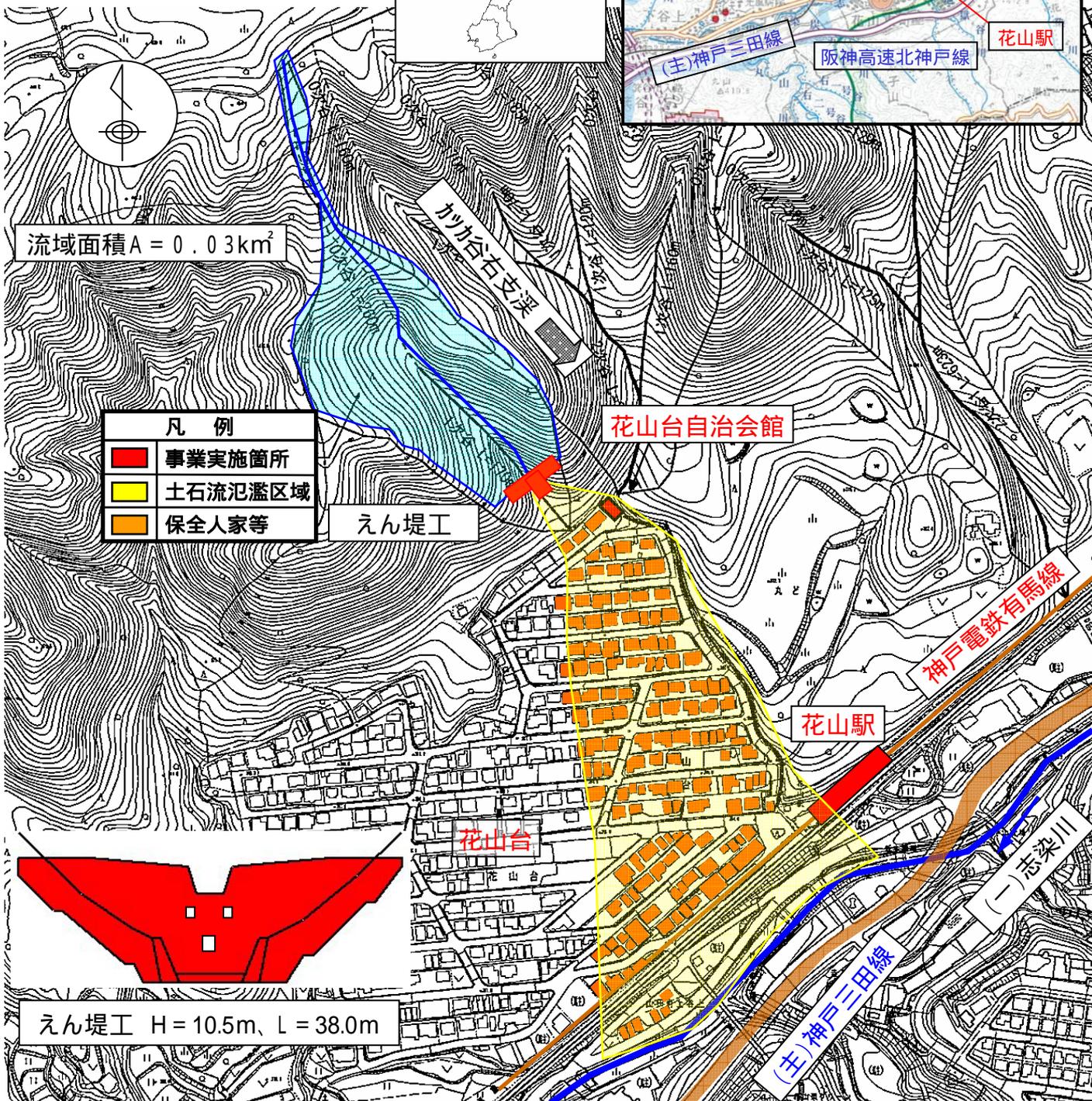
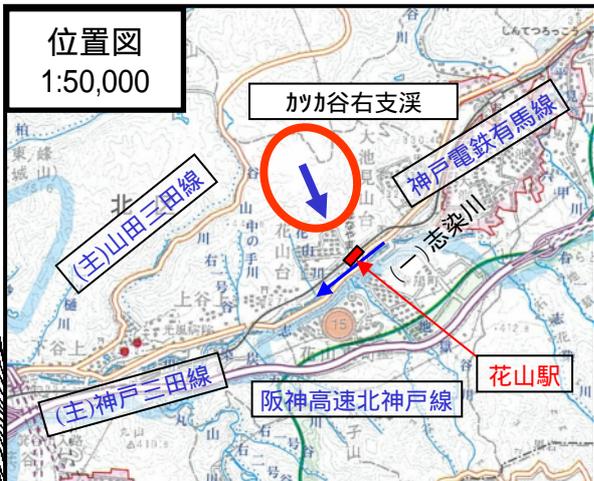
かつかたにみぎしけい

カツカ谷右支溪

[神戸市北区]

計画概略図

縮尺 1 : 7 5 0 0



えん堤工 H = 10.5m、L = 38.0m